

## FROM EDITORS

室  
編  
集  
から



今年は、宮沢賢治生誕百年ということで、彼を取り上げた企画をあちらこちらで見かける。中には好企画のものもあつたけれど、あまりのフィーバーぶりに、少々、うんざりもしている。

賢治といえば、天覧山・多峯主山を守る運動が始まった頃、地元の新聞に書かれてあつた事を思い出した。

「——自然をこよなく愛した賢治。天覧山・多峯主山を守る運動が始まっているが、これらの山々が残ることを願つている——」

地球に存在する全ての命を愛した賢治を好きな人は、自然の大切さを感じているはず。

近年の、宮沢賢治の急速なブームは、自然を残すことの大切さを知らせるために、やつてきたのかも知れない。

△木崎△

ひとりひとりの  
声が  
力  
になります。



開発計画の変更を是非訴えて下さい！

◆飯能市役所 小山誠二  
④代表 73-2111

◆埼玉県庁 飯能市双柳一  
④代表 357  
④3336

◆浦和市高砂三一一五  
④代表 048-824-2111

◆業者 西武鉄道株式会社 二郎  
④359  
④359  
所沢市くすのき台

◆代表 0429-26-2136  
④環境庁 (岩垂寿男)  
④100  
千代田区霞が関

◆代表 03-3581-3351  
④谷口眼科 ★銀河堂  
●会員登録  
②協力会員・年会費三千円  
ペント等ご協力下さい。  
会員の申込み用紙 会報「やませみ」、  
市長へのお手紙の用紙などは、事務局  
や左記の住所の所に置いてあります。

●会員登録  
①維持会員  
一般会員・年会費三千円  
②協力会員・年会費三千円  
ペント等ご協力下さい。  
会員の申込み用紙 会報「やませみ」、  
市長へのお手紙の用紙などは、事務局  
や左記の住所の所に置いてあります。

●会員登録  
①郵便振込口座  
(番号) 00580-9-16342  
守る会

発行日/1996年8月23日 編集・発行/天覧山・多峯主山の自然を守る会  
事務局/浅野正敏 飯能市柳18-17 74-1691 小船明子 72-4602  
編集局/早瀬あかね 77-1890 (FAX兼)

天覧山・多峯主山周辺の自然を守りたいという目的に賛同して下さる方はどなたでも会員になれます。

会の活動は……。

●月一回の例会(飯能総合会館) ●月一回の山歩き ●会報「やませみ」の発行

今朝幕集中!!



No.8

天覧山・多峯主山の自然を守る会 会報

# やませみ



天覧山・多峯主山を守る運動も面白い  
見えてます。でも、街の人  
は、どのくらいこのニュースに注目しているので  
しょうか。ひとうじて今月は8月・9月の  
経過をまとめふれさせました。

そして、体当たりインターで街の人の  
声も伝えます。他には大阪・能勢町のトラストのヒット、

山からは、秋の空にできる鳥の道のおほかです。

天覧山・多峯主山の未来像では、秩父、はたまた小川町の方までの広大な夢が語られています。まあ、山は秋の草花がいいのです。万里散歩の感想と予告も

あります(続く)。やませみ8号、秋のページの始まり始まり…

# 天覧山・多峯山をめぐる 8月+9月の動き

元気の出るニュースが  
ありました！



8/9 環境庁がオオタカ等の猛禽類保護のためのガイドラインを発表。

8/23 埼玉県環境保護団体協議会と守る会との連名で、県へ要望書を提出し、県庁にて記者会見。先に県知事に提出した公開質問状の回答では、随所に知事の環境優先の姿勢が感じられました。そこで、八月九日の環境庁のガイドラインの発表を受けて、さらに開発と自然環境保全のよりよい調和の実現を図るために具体的な対応を求めた七項目にわたる要望書を提出しました。

8/29 西武との2回目の話し合い。

今回は過日環境庁からのガイドラインを受けて、計画の変更もあり得る微妙なニュアンスを感じる話し合いとなりました。西武側からは「例えは」と前置きして「現在調整区域である範囲を保護区にして、そちらへオオタカの営巣を誘導できないか、その際、学校や道路の位置に問題が出れば検討する。」などの提案がありました。

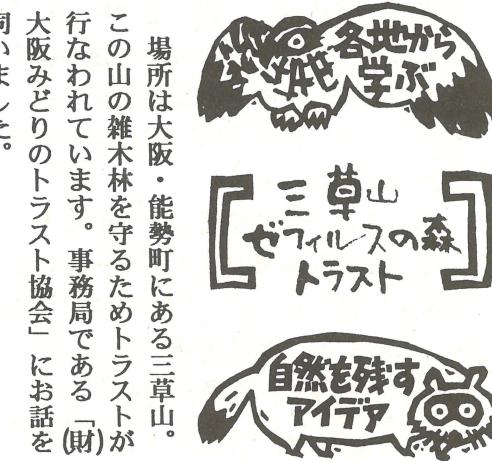
9/2 土屋知事、記者会見でオオタカ保護に言及。

9/3 埼玉県環境保護団体協議会

代表者会議に参加。同議会は県下53団体が加盟し、共同して県の環境行政に対して発言、行動してゆく目的で89年に結成されました。同会議で飯能の大変重要な課題は、県立奥武藏自然公園の保全を進めていく上で、取り組んでいます。

9/13 飯能市議会九月定例会において、天覧山・多峯主山付近の開発について、常田議員が一般質問しました。  
Q「八月に環境庁が猛禽類保護のためのガイドラインを発表した。天覧山・多峯主山付近の開発予定地にはオオタカが棲息しているので、ガイドラインに基づいて市は対応しなければならない。また、土屋知事も天覧山・多峯主山周辺の開発について、ガイドラインに沿って充分な調査検討を行い、オオタカが保護されるように事業者を指導していきたい」と記者会見で述べた。

9/14 飯能警察でオオタカの巣の破壊についての捜査状況を聞いてきました。警察としては、四月一八日以来数度に渡る調査により、オオタカの営巣抱卵を確認、現在も捜査続行中です。(鳥獣保護法では時効までの三年間は捜査を続ける事となっています。)



場所は大阪・能勢町にある三草山。この山の雑木林を守るためトラストが行なわれています。事務局である「(財)大阪みどりのトラスト協会」にお話を伺いました。

ここはもともと能勢町の共有林ですが、現在は14hが保護の対象となっています。このトラストの名前でもあるゼフィルス、つまり蝶が雑木林にやつて来ます。10種類のヒロオビミドリシジミたちです。三草山はこの蝶たちの東限地であることから日本鱗翅学会と協力を結び、基金を設けて知恵と資金を集めて雑木林を守っています。市民は資金面だけでなく、イベントを通して下草刈り・植樹・間伐などで直接山と関わり会いをもてるようになっています。手の入れ方も慎重にしなければなりません。根底に流れるものは「自然は多重構造」ということ。そこにもともとあった生態系を大切にしつつ、より複雑な生態系が生まれるように、例えば植樹にしても背の高い木や低い木を混ぜたりなどトトラスト協会内に専門委員会を設けて、森のあり方を検討します。蝶だけでなく、鹿やうさぎ、狸も棲む三草山。蝶の食べる植物を増やせばいいというのではなく、蝶につながる生き物達全てが棲みやすい環境を守ることで、初めて蝶も生き生きと羽ばたくのではないかでしょうか?

三草山には沼や池などは無いそうですが、さて天覧山・多峯主山を見てみれば、いくつもの沢や湿地、雨乞いの池、とより幅広い環境がすでにあります。そして三草山の蝶にかわづくのではないでしょうか?  
天覧山・多峯主山にはトンボがその種類の多様さを誇っています。都心からわずか一時間で、土があり水がある時を手軽に過ごせるこの場所に、ミクロの生き物からオオタカまでという生態系のバランスが作られるよう、自然にほんの少し手を貸させていただきたいですね。

**オオタガの棲む森を通る自然歩道（市道181号線）を  
小山市長は、西武鉄道の定地開発に提供しようとします。**

天竜山裏の神久山から太郎坊を通り、多峯主山に至る市道181号線は市民のものです。

